

みずほCustomer Desk Report 2020/05/08 号 (As of 2020/05/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.27
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.22	1.0799	114.65	1.2326	0.6392
SYD-NY High	106.65	1.0835	115.14	1.2418	0.6506
SYD-NY Low	106.00	1.0767	114.44	1.2266	0.6378
NY 5:00 PM	106.24	1.0833	115.14	1.2364	0.6497
NY DOW	23,875.89	211.25	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	8,979.66	125.27	日本10年債	0.000	3.00bp
S&P	2,881.19	32.77	米国2年債	0.1378	▲4.16bp
日経平均	19,674.77	55.42	米国5年債	0.3046	▲6.80bp
TOPIX	1,426.73	▲4.53	米国10年債	0.6385	▲7.01bp
シカゴ日経先物	19,815.00	420.00	独10年債	-0.5485	▲4.30bp
ロンドンFT	5,935.98	82.22	英10年債	0.2330	0.30bp
DAX	10,759.27	153.07	豪10年債	0.9560	4.80bp
ハンセン指数	23,980.63	▲156.85	USDJPY 1M Vol	7.80	0.02%
上海総合	2,871.52	▲6.62	USDJPY 3M Vol	8.18	▲0.07%
NY金	1,725.80	37.30	USDJPY 6M Vol	8.58	▲0.03%
WTI	24.83	▲0.79	USDJPY 1M 25RR	-1.28	Yen Call Over
CRB指数	122.58	1.04	EURJPY 3M Vol	9.63	0.16%
ドルインデックス	99.89	▲0.20	EURJPY 6M Vol	9.94	0.03%

アジア	朝方に106円ちょうどまで下落したドル円は106.22レベルで東京時間オープン。大型連休中に米中対立懸念もあってドル円は下落していたことから、輸入企業などによるドル買いが仲値にかけて優勢となる。106.30台をタッチする場面もあったが、長くは続かず正午にかけてじりじりと下落した。午後には日経平均株価指数の上昇につれ、ドル円も小幅に上昇し、結局106.29レベルで海外時間にわたった。
ロンドン	ロンドン市場を106.29レベルでオープンしたドル円は、アジア時間の流れを引き継ぎ上昇。アジア時間に発表された中国4月度輸出が4か月ぶりに増加したことから、ヨーロッパ圏の投資家の心理も改善され、リスクオンのドル買い・円売りが進んだ。一本調子で上昇し、106.59レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2364レベルでオープン。英イングランド銀行(中央銀行)が市場予想通り政策金利を0.1%を据え置いたことで小動き。1.2346レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	ゴールデンウィーク明けで本邦輸入企業のドル買いや、中国4月貿易統計(ドルベース)で輸出が前年比プラス3.5%と予想(マイトス11%)を大きく上回ったことや、対ユーロ・ポンドでドルが買われる動きに、ドル円は106.61まで戻し、106.59レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を上回り、前回分も上方修正されたドル円は106.43まで反落するが、ドル買いが再び持ち込まれ106.65まで戻す。その後は翌日英国が休みであることや、米雇用統計を控え利益確定のドル売りが持ち込まれているとの話にドル円は反転し、106.22まで下落する。終盤に掛けては、閑散な取引が続き、106.24レベルでクローズした。一方、ECBの資産購入一部意見の判断を受け、上値の重い展開が続くユーロドルは、3月独仏の鉱工業生産が予想以上に悪化したことから、海外市場で1.0779まで下落し、1.0791レベルでNYオープン。朝方は、ドル買いが強まったことから1.0767まで下落するが、ラウル・ECB総裁が「物価安定の」マントを達成するために必要なことはやる」との発言を受け1.0792まで戻す。その後も翌日の米雇用統計発表を控え、ドルが売り戻される展開に、ユーロドルは1.0834まで戻す。終盤は高値圏での推移が続き、1.0835を付け、1.0833レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのご提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

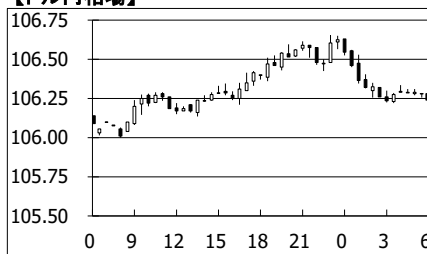
担当: 田坂・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

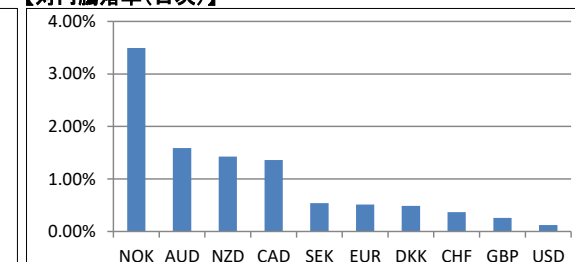
Date	Time	Event	結果	予想
5月7日	10:30	豪 貿易収支	3月 A\$10602M	A\$6000M
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 -9.2%	-7.4%
	15:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.1%
	16:30	独 マークイット建設業PMI	4月 31.9	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	3169K 3000K

Date	Time	Event	予想	前回
5月8日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 -22000K	-701K
	21:30	米 失業率	4月 16.0%	4.4%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	4月 0.5%/3.3%	0.4%/3.1%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	3月 -1.0%	-1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 アンパンマン「アンドリユー・クオモNY知事」に期待

今週末までに50州のうち43州が部分的ながら経済活動正常化に向けて動き始める米国。死者増加のリスクを認識しながらも、トランプ大統領は経済再開への強い意志を示しており、大統領選を意識しているのは勿論のことながら、「命と引き換えに」と言わざるを得ないほどに米景気の先行きが暗いということだろう。事実、次々と報じられる米有名企業のChapter11申請報道で、コロナショック以前に低迷しはじめていたような企業は一気に破綻の引導が渡されてしまうどころか、健全と思われる企業でさえ破綻が近いといった噂も聞こえる状況に、コロナの破壊力を感じずにはいられない。ロックダウンが終われば、米景気は勢いを取り戻すといった見方も一部にはあるが、私は到底そうは思えない。コロナが引き起こした需給ショックに対し、大規模かつ迅速な財政政策で臨んだ米政府。しかし、財政政策によりお金が手元にあろうとも、そのお金を先行き不安を抱えながら使うだろうか？ワクチンが実用化していない状況で、以前のように外出するだろうか？楽観的なアメリカ人でもNoだろう。GDPの7割を個人消費が占める米国でこの状況は悲惨だ。お金があるだけでは足りない。「需要」が創出されなければ、企業の売上は低迷、破綻という道に追い込まれる。景気回復というシナリオは程遠い。いつかは力強い米国に戻るだろうが、回復に要する時間は長く、リスクオフモードの中、ドル円の値動きを予想している。これに突破口を見つければいい。いまや全米のスーパーヒーロー「アンドリユー・クオモNY知事」ではないだろうか。私自身、全米同様にクオモ(独身)にメロメロになって早2か月。外出自粛のなかSNSで彼の言動を逐一追っかける私は、もはやストーカーだ。独身という情報が私の熱病に拍車をかける。それはさておき、本人は拒否しているが、彼が民主党候補に立候補することにより、一気にムードが変わると思うのだ。NY州のコロナ対応がそうであったように、彼ら人々の「次に何が起きるかわからない」恐怖感を拭い、「次に起こる未来」を正視する勇氣、「クオモならん底にいる米国の誠実に救ってくれるはずだ」という希望を与えるのだ。今どき底にいる米国のリーダーとして適任だ。希望や期待はリスクオン相場の源泉だ。アンドリユー・クオモはNYだけでなく、米国、マーケットにとっても救世主となるかもしれないとひそかに思っている。(たさかまりえ)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	浅見	大谷	谷鋪
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14